

木造住宅耐震化プロジェクトTOUKAI【東海・倒壊】-0

無料の耐震診断は令和6年度で終了します。早めの申し込みを！

ゼロ



県と共に平成13年度から取り組んでいる「木造住宅の耐震化プロジェクト」は、令和8年3月で終了します。そのため、総仕上げに向けて取り組みを強化しています。

耐震化に取り組みましょう

昭和56年5月以前に建築された木造住宅の所有者や居住者に対し、専門家の耐震診断(無料)、耐震補強設計・耐震補強工事の支援を行っています。

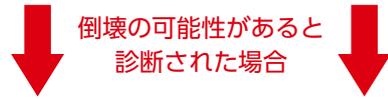
地震発生後も住み慣れた住宅で生活を継続できるように補助事業を活用して、自宅の耐震化に取り組みましょう。

なお、「専門家の耐震診断(無料)」は、令和6年度で終了します。所有者や居住者は、早めに申し込んでください。



木造住宅の耐震補強までの流れ

専門家の耐震診断(無料)～令和7年3月末まで
市が派遣する専門家(静岡県耐震補強相談士)による耐震診断



**耐震補強工事
(補強計画一体型)**
～令和8年3月末まで
補助金の上限額 1棟100万円
(高齢者のみ世帯等1棟120万円)
※工事費の8割が限度

**移転(耐震性のある
住宅への住み替え)**
～令和8年3月末まで
補助金の上限額 10万円
※高齢者のみ世帯で既存住宅を
除却する場合に限る

都市計画課 995-1856

不発弾事故を防ぐために

不発弾事故を防ぐ3箇条「入らない!」「さわらない!」「まず連絡!」

その1 入らない!

演習場内では、射撃訓練や爆破訓練を行っているため、大変危険です。演習場の土地所有者、入会組合の関係者以外の一般の人の演習場内への立ち入りは、禁止されています。

その2 さわらない!

演習場内外で不発弾らしきものを発見した場合は、非常に危険ですので絶対に触らないでください。

その3 まず連絡!

演習場内で不発弾らしきものを発見した場合は、すみやかにその場所を陸上自衛隊富士学校へ連絡してください。演習場外で見つけた場合は、最寄りの警察署へ連絡してください。

陸上自衛隊富士学校 0550-75-2311

平日▶演習場管理課(内線2291)

土・日曜日、祝日▶富士駐屯地当直(内線2302)



※不発弾は、いろいろな種類や形があり、処理を行うには専門的な技術が必要です。